

# 学校給食調理部門民間委託問題で考える会が市教委に申し入れ 城北中学校内以外にも全市的な検証機関の設置を

上越市の学校給食を考える会（代表委員は小関信夫議員など6名）は、このほど市教委を訪れ、城北中学校で試行されている学校給食調理部門の民間委託に関して申し入れを行いました。申し入れは以下の通りです。

## 1. 城北中学校内での検証機関以外に、全市的な検証機関を設置すべきであること。

（理由）・「1事業者任せられる施設数を、他市町村の状況調査を行う」「サービスを維持して費用軽減が図られているか」等については、当該校だけの問題ではなく、全市的課題であると考えます。

・計画では、平成24年度までに、23施設を委託することになっており、このことについての意見を、広く市民からの意見を聴取すべきであると考えます。

## 2. 検証内容に付加すべき観点

### （1）調理業務従事者数及び従事時間のチェック

（理由）・「献立に応じて柔軟な人員配置ができること」「継続して同一施設内での従事を原則とすること」とされているので、このことの確認が必要であると考えます。

### （2）食感（おいしさ）や給食の外観等についてのチェック

（理由）・学校給食の安全・安心は当然のこととして、食べることの一つの要素である、食感（おいしさ）や給食の外観等の確認が必要であると考えます。



【下吉野から見た頸城三山】21日は見事な五月晴れでした。田んぼは水鏡となって残雪の残る山々を映し出していました。

### （3）日常的な生徒との関わりや食育への関わりについてのチェック

（理由）・従前調理員は、日常的な児童・生徒との関わりや学校教育の中での食育への関わりを持ってきていることから、委託後での実情を確認が必要であると考えます。

### （4）栄養士による業務指示の実情及び学校管理者等との関係についてのチェック

（理由）・栄養士が指示できる対象者が限られていることから、栄養士による具体的な指示の実情及び学校管理者等からの伝達等の実情についての確認が必要であると考えます。

この申し入れについては文書で回答するよう求めています。3月定例市議会の文教経済常任委員会などで市教育委員会は、検証項目の提案などについては提案があれば検討するとしています。

## イラクの実態生々しく

### …高遠菜穂子講演会

憎しみの連鎖が次々と起こり、どうにもならない内戦状況となっているイラク。20日の講演会で高遠さんは、ビデオやスライドを使って、マスコミがほとんど報道しないイラクの実態を明らかにしました。

滅茶苦茶にされた民家、拷問によるキズだらけの遺体、化学兵器を使ったと思われる遺体の数々、直視できない映像がいっぱいでした。

「命に国境はない」という講演で、高遠菜穂子さんは、「武力を持たないこと」の大切さを語りました。日本の平和憲法、9条を守ることとつながる話でした。参加者は約2百人でした。



## 日本共産党上越市支部ニュース

No.93 2007年5月27日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
樋口良子 544-6802 (中門前3)  
橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)